

地域づくりへのご理解とご協力をお願いいたします

網走市の高齢化率は令和6年3月末現在で約33%（3人に1人が65歳以上）です。

網走市における高齢者人口の将来推計では、これまで増加していた高齢者人口は、令和2年（2020）年以降緩やかな減少傾向の見込みですが、介護の必要性が高まる75歳以上の人口は増加し、介護サービスの利用ニーズが高まることが想定されています。

介護も含め様々な分野で「担い手不足」が深刻化する中、年齢を重ねても住み慣れた地域で安心して暮らすためには、まずは市民自らがいつまでも健康で過ごせるよう社会参加や健康づくりを行うとともに、身近な地域の中で支え合える環境をつくるのがとても重要になります。

住民の皆さんにとってより良い地域を、住民の皆さんと共に築いていく取り組みを進めていますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



支え合いの地域づくり研修会を開催しました

令和5年11月25日（土）、各地区の共通課題である「担い手不足」を踏まえ、「高齢者の社会参加」をテーマに研修会を開催し、68名の方にご参加いただきました。

「講話」や「シニアが持っている知識や経験を生かせる場の紹介」等、社会参加の必要を感じ、身近にある社会参加を知るきっかけになったと思います。

研修会終了後には、「社会参加の相談できるブース」や「記名式アンケート」を通じて社会参加の希望を募った結果、13名の方が新たな社会参加につながったことは大変心強く感じました。



お問合せ先

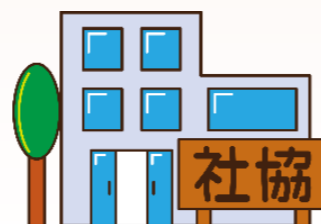
社会福祉法人 網走市社会福祉協議会

〒093-0061

網走市北11条東1丁目 総合福祉センター内

電話 (0152) 43-2472

FAX (0152) 43-3919



地域支え合い推進員（生活支援コーディネーター）が 支え合いの地域づくりのお手伝いします！



生活支援体制整備事業 進捗状況のご報告

網走市社会福祉協議会では、年齢を重ねても、住み慣れた地域で生きがいを持ちながら、自分らしい生活がおくれる環境づくりを住民の皆様や関係機関等と連携を図りながら進めていく「生活支援体制整備事業」に取り組んでおり、令和6年度で事業開始から8年目を迎えます。

この取り組みは「住民が主役」です。これまで各地区での話し合いの場を中心に、皆様のご意見をお聴きし、地区の考え方やスピードを尊重しながら、住民の皆様の知恵と力を生かした地域づくりを1歩ずつ進め、少しずつ地域づくりの輪が広がってきています。

今回は、令和5年度（令和5年4月～令和6年3月まで）に各地区で取り組まれた活動の一部をご報告させていただきます。

どのような地区で進めているの？

町内会の地区割でもある「地区連合町内会」を基盤に、17地区において「話し合いの場づくり」や「地域課題の解決に向けた協議や取り組み」を進めています。



- | | | |
|--------|----------|----------|
| ①西地区 | ②北地区 | ③向陽ヶ丘地区 |
| ④台町地区 | ⑤鉄南地区 | ⑥呼人地区 |
| ⑦東部地区 | ⑧南部地区 | ⑨西網走地区 |
| ⑩桂町地区 | ⑪鱒浦地区 | ⑫南西・南東地区 |
| ⑬潮見地区 | ⑭つくしヶ丘地区 | ⑮駒場地区 |
| ⑯天都山地区 | ⑰新町地区 | |

～各地区の協議体が中心となり実施した課題解決の取り組みを一部ご紹介します～

西地区

地域がつながるきっかけづくり～野菜販売～

西地区では、子育て世代から高齢者までの幅広い年代へのアプローチとして、市内の農家にご協力いただき野菜販売を行いました。移動手段のない高齢者の買い物支援や地域にある社会参加の場の情報提供等を行うとともに、住民同士の交流の輪が広がりました。



- ☆幅広い年代の住民交流。
- ☆地域にある社会参加の場の周知。
- ☆買い物が困難な方への支援。



北地区

子ども達が主役～北のふれあい祭りへの参加協力～

北地区では、次世代を担う子ども達が身近な地域の中で主役となり、活躍できる場として「北のふれあい祭り」で赤飯引き換えブースを担当しました。子ども達の笑顔や元気なかけ声を通じて、様々な世代とたくさんの交流が生まれました。



- ☆元々あるイベントを活用し、社会参加の場を作った。
- ☆子どもが楽しみながら主役になれる企画づくり。
- ☆若い世代へのアプローチ。



つくしヶ丘地区

美しい地域を目指して～ウォーキング・トーキング・キャッチング～

つくしヶ丘地区では、「美化活動」を通して住民が身近な地域に目を向け、住民同士が交流を深め、健康づくりにつながる事業を企画しました。秋空の中、子どもや高齢者、親子連れ等、68名の方にご参加いただき、大盛況でした。参加した子ども達からは、「誰がゴミを捨てるのかな?」「きれいにしたいね!」等、自分達の地域に目を向けるきっかけにつながりました。



- ☆協議体が主体となり「地域や小学校への呼びかけ」「企業や関係者への説明と協力依頼」等を行った。
- ☆住民が楽しみながら、地域に目を向ける企画づくり。
- ☆駒場交番との連携。



天都山地区

地域の魅力を再発見～リッチガーデンウォーキング～

天都山地区では、住民がウォーキングを通じて身近にある豊かな自然や美味しいグルメ等、住んでいると気づけない地域の資源や魅力を再発見しながら、住民同士が交流を深める取り組みを行いました。



隣近所との交流が無かった若い世代の参加、地域内にある2つの町内会の交流、本事業をきっかけに出会った住民同士が除雪を協力し合う等、新たな地域のつながりや支え合いが生まれました。



- ☆地域の良さや社会資源を活用し、地元愛を深めてもらう。
- ☆気軽に楽しめるイベントを通じ、新たな住民層へアプローチ。
- ☆地域の方々が取組みに賛同いただき、協力を得られた。



鉄南地区

世代を超えてつながろう!～ゲーム交流会～

鉄南地区では、地域づくりは「住民同士がつながること」から始めようと、楽しみながら世代間交流が行える場づくりとして「ゲーム交流会」を実施しました。回を重ねるごとに若い世代や今まで地域活動に参加していなかった住民の参加も増え、地域の活性化につながっています。また、住民が持っている技術や経験を地域に生かす動きも広がり、鉄南地区ならではの特色ある取組みが広がっています。



- ☆参加の呼びかけは住民同士の声かけ。
- ☆世代間交流、住民が気軽につながれる場づくり。
- ☆高齢者が主役になれる企画づくり。



東部地区 鱒浦町内会

移動手段の確保を目指して～どこバス説明会～

東部地区鱒浦町内会では、現在は自分で車の運転ができるため、買い物等の移動手段の確保はできているが、近い将来でなくなる住民が多くなることが予想される。そこで、元気うちから準備を進めておこうと住民向けの「どこバス説明会」を開催しました。実際に予約の仕方の実演や地域の実情を踏まえた意見交換等が行われました。町内会としても、実際に試乗できるよう参加者に乗車券を配布しました。



- ☆近い将来の課題を見据えた取り組み。
- ☆説明を聴くだけでなく、予約の仕方を実演。
- ☆終了後、試乗できるよう町内会が乗車券を配布。



新町地区

安心して暮らすために～高齢者のお困りごと相談～

新町地区では、住民アンケートの結果から見てきた生活課題を踏まえ、「高齢者の不安解消のための説明会」を開催。高齢者が有効活用できる福祉サービス等の情報提供、お困りごとの相談ができる場を設けました。



- ☆近い将来の課題を見据えた取り組み。
- ☆現在困っている高齢者の声に対応。
- ☆既存の福祉サービスの有効活用。



潮見地区

身近に潜む犯罪から身を守ろう!～防犯研修会～

潮見地区では、誰もが安心して暮らせる環境づくりを目的に「防犯」をテーマに住民向けの研修会「安心安全に暮らせる潮見」を開催しました。駒場交番の警察官が講師となり、身近にある犯罪事例や注意点等、どの世代にとっても必要な情報を模擬体験を交えながら解りやすく、説明いただきました。



- ☆地域の交番と連携。
- ☆子どもから高齢者までターゲット層を幅広く設定。
- ☆実際に起こった身近な地域の犯罪事例を紹介。



住民どうしがふれあい、つながっていくことが地域づくりの第1歩ですね。いま困っていることだけではなく、近い将来困ることに目を向け、準備を進めることがとても大切です。